

災害・非常事態の 研修・訓練

講義・映像

図上演習

実技訓練

体験学習

ロールプレイ

ワークショップ

独自コンテンツとコンサルティング経験で個別対応

研修会事例

今日、停電したら

重要業務の代替手段、電力供給の継続が必要な機材の選抜などを図上演習。

分電盤や引込線の確認、発電機や蓄電池の準備や操作、ケミカルライトでの通路誘導など実機を用いたワークを実施。

明日、計画運休です

計画運休発表。明日の通勤は絶望的。出入業者や近隣商店も計画休業、休校や休園多発。

日勤者は退勤前、夜勤者は出勤前の15時から会議。業務の継続や休止の取捨選択、人員配置や食料調達などの会議を疑似体験。

救援・受援、孤立無援

組織(法人)や立地都市は報道されやすいか。報道量と救援量の関係、情報発信方法を講義。

孤立無援が1週間続いても業務継続できる体制づくりについて議論し、発生する実務を図上演習または実技訓練。

サプライチェーンが切れたら

原料、製造、流通、販売の連鎖。システム障害だけでもあの商品は入手困難となる。

業務に不可欠な商品の列挙、そのサプライチェーンの把握、代替品候補、調達困難時の業務休止のシミュレーションなどを演習。

地震発生、状況把握せよ

大地震が発生したと仮定し電気、水道、交通、火災などの情報収集を実施。

過去の発災時のニュース映像、通信速度の遅いスマホ提供など、現実感のある訓練環境を用意し、情報について学習。

上水・中水・下水

大きな揺れ、天井や壁が崩落している。設備の損傷を判断できるか。もし下水管が破断していたら天井から汚物が降ってくる可能性。

技術や機材に触れて効率、衛生、快適を考える力を養い、備蓄適正化について議論。

どこへ避難すべきか

周辺道路は水深10cmほどの冠水。近隣河川で氾濫危険水位に達したとスマホに通知。

地図やハザードマップから避難先を候補し、行程をシミュレーション。移動を試行、独自の避難計画やタイムラインを作成。

帰宅難民シェルター

大雪や地震で交通がマヒし帰宅難民が発生、数十万人に影響した事例も散見される。

従業員の帰宅難民化予防や難民化事後対応、従業員以外の帰宅難民を受入れた場合の食事やトイレの争奪など課題を図上演習で学ぶ。

災害・非常事態の 研修・訓練

演習・訓練のテーマ例

講義・座学のテーマ例

A. インフラの途絶と応急

電気や水道、通信などの途絶に対し今の備蓄と技術でできること、できないことを体験学習

B. 災害対応中の食事と衛生

24時間体制で対応中は食事や睡眠も24時間随時。環境衛生と快適性を求め機材や設備を使用経験

C. ドライトイレで1週間

現在の備蓄品で1週間の断水対応。資器材の節約や消費計画、代替方法試行などを疑似体験

D. ウチの停電対策

蓄電池や発電機の有無、燃料備蓄や調達可能性、自施設の現況を知り、対策を体得する研修

E. 被災地残留と広域避難

発災後も被災地に留まる多数派、遠方へ避難する少数派、生存や業務継続の視点で課題を探り議論

F. エスケープゾーン

火災や暴漢から逃れるためのエスケープゾーン。作り方や籠城、脱出を疑似体験し備えを検討

G. 組織の非常時体制と拠点

臨時の食堂や仮眠室、対策本部の設営や運営。型通りの進行、暴徒や泥棒などアクシデントも体験

H. 帰宅難民、職場で寝る

帰宅難民となった自身の職場での一晩を疑似体験

I. アレ買ってきて

休業、運休、現金、制約の中での指定品を調達

J. 避難しない避難生活

指定避難所以外は公助が無い。食糧も毛布も貰えない想定でのサバイバル生活を図上演習

a. BCPの基本的な考え方

マニュアルでは異なる計画書、目標志向の自律的行動を実装し強靱な非常時対応を目指す基礎教育

b. BCPからBCMへ

書類上の計画(BCP)はマネジメント(BCM)が不可欠。管理者・従業員の役割や期待される結果を紹介

c. 空腹は我慢できても、トイレは我慢できない

発災後、トイレの準備が遅れると衛生状態は劣悪。優先順位や役割分担、備蓄の重要性を学ぶ

d. 電気の無い仕事と生活

停電や低電圧は様々な業務を停止させる。その直接的、間接的影響と対策について学ぶ

e. 災害と災害級のちがいを

災害対策基本法に定義されない事象は災害級でも公助はない、避難所開設もないことを知る

f. 生活・地域の危機管理と自助・共助

自らのための自助は確約があるが備えが必要。共助は縁と合意形成が必要。個人、町内会、企業など規模や目的による最適な選択は何かを考える

g. 勝つことより、負けない対策『目標志向行動』

非常事態の制圧より生き延びること、人も組織も柔軟に変化し、美しい工程より目標達成が重要

h. 非常事態への対策から学ぶ顧客満足

ピークエンド、終わり良ければ全て良し。非常事態も顧客満足も目標(goal)達成が重要

i. 『災害医療』と『災害時の医療』

多くの医療機関は被災を機に受動的に渦中へ。乏しい機材や技術で危機を生き延びる現実を知る

独自コンテンツ

シナリオや動画など独自制作のコンテンツが充実。停電後冷蔵庫内温度など自験例も多数。演習に使用する機材は入手容易で実用的な商品を選抜。休業できない医療や介護でのコンサル経験が多く強靱性向上が強い。

ワークショップ



図上演習



主任講師紹介

電気工事士、臨床工学技士。建設と医療の両方実務経験。2001年から医療機器と設備にまたがる危機管理を研究。患者安全、災害対策、非常事態対応のコンサルタント。医療的ケア児の災害対策を無償支援。講演など100回超。

発売元

NE S株式会社 (エヌイーエス)

所在地 兵庫県伊丹市野間5-10-13

URL <https://24med365.net>

メール info@24med365.net

登録電気工事業者
兵庫県 第300333号

